



警告のニューズレター「角笛」

発行日：2017年10月発行（第90号）

発行：警告の角笛出版

価格：フリーペーパー

角笛 HP: <http://www.geocities.co.jp/Technopolis-Mars/5614/>

【目次】

◎巻頭メッセージ：「あらゆる悪の欺き」 エレミヤ

◎時代を悟る「子どもたちを取り巻く霊的環境 —ポケモン—」 H.F

◎お知らせコーナー 「本の紹介」

[巻頭メッセージ]

「あらゆる悪の欺き」 by エレミヤ

2テサロニケ2:9 不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、

2:10 また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行なわれます。なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。

2:11 それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。

2:12 それは、真理を信じないで、悪を喜んでいたすべての者が、さばかれるためです。

本日は「あらゆる悪の欺き」という題でメッセージしたいと思います。終末の日、真理に従おうとしないクリスチャンに対してサタンによるあらゆる悪の欺きが許されること、そしてその欺きで惑わされる人々は滅んでしまう、ということを見ていきたいと思えます。テキストに沿って見ていきます。

<その日、クリスチャンが惑わされる>

“不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い”

ここでは、不法の人、すなわち、反キリストの到来に伴い、あらゆる偽りの力や、しるし、不思議が起きることが書いてあります。

ここで、書かれている「偽りの力や、しるし、不思議」とは以下のことばに書かれているしるしや不思議と同じものです。

マタイ 24:24 にせキリスト、にせ預言者たちが現われて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをして見せます。

ここに書かれているにせキリストやにせ預言者は誰を惑わし、だますかというとその対象はクリスチャンです。もし、ここに「にせ仏」と書かれていれば、その騙される対象は仏教徒でしょうが、しかし、にせキリスト、にせ預言者と

「あらゆる悪の欺き」 by エレミヤ

書かれています。対象がクリスチャンであることがわかるのです。その日、クリスチャンが惑わされ、クリスチャンが永遠の命を失うべくサタンの惑わしが許されるのです。

＜しるしと不思議＞

ここで書かれているしるしと不思議とは以下の聖霊の働きについて述べたペテロのことばと同じです。

使徒4:30 御手を伸ばしていやしを行なわせ、あなたの聖なるしもベイエスの御名によって、しるしと不思議なわざを行なわせてください。」

ですから、反キリストは聖霊の働きに似たようなしるしと不思議を行うわけなのです。そしてそれらのしるしと不思議に圧倒され、惑わされて反キリストを拝むクリスチャンは最終的には、永遠の命ならぬ、永遠の滅びに入ってしまうのです。

＜すでにこの悪霊的なしるしと不思議は起きつつある＞

私の理解では、今は黙示録や終末と遠く離れた時代ではなく、逆にもうすでにキリスト教会には黙示録の災いが少しずつ起こりつつあります。この悪霊的なしるしと不思議も既に教会内で起こりつつあるのです。

具体的には、ピーターワグナー(Peter Wagner)らの主張した聖霊の第3の波の運動は悪霊的なリバイバルであり、その器であるベニーヒン(Benny Hinn)や、ロドニーハワード(Rodney Howard Brown)などは悪霊を下す器です。彼らの行うしるしや不思議に惑わされる人は悪霊を受けるようになります。

＜悪の欺きが許される＞

“2:10 また、滅びる人たちに対するあらゆる

悪の欺きが行なわれます。なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。”

その終末の日、サタンによるあらゆる悪の欺きが許され、行われるようになることが書かれています。

かつて起きたことのない本格的な惑わしが教会内で起きてくるのが、ここでは語られているのです。たとえばこんなことでしょうか。今まで、鎖でつながれていたライオンがその鎖を解き放って自由に人を襲うような時がくるのです。偽りの専門家であるサタンが自由に教会にいる人々を惑わす日が来るのです。

しかし、何故神はそのような惑わしを教会に対して許されるのでしょうか？その疑問に対して以下の様に書かれています。

「彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。」

神がその惑わしを教会やクリスチャンに対して許される理由は、彼らが聖書の真理も神の真理も受け入れず、逆に偽りの教理を喜んでいからです。真理を受入れず、都合の良い、耳ざわりの良い偽りの教理を受入れる人がそのサタンの惑わしの犠牲になることがここで書かれています。ですから、艱難前携挙説の様な偽りの教理を喜んでい人々はサタン由来の惑わしに入る可能性があります。

2:11 それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。

さて、ここではサタンのみでなく、神ご自身がそのような真理を受け入れず、偽りの教理を喜んでい人々が滅びるべく「惑わす力を送り込」むことが書かれています。神ご自身が先頭に立ち、惑わしを送るのです。恐るべき時代です。

「あらゆる悪の欺き」 by エレミヤ

その理由として、「それは、真理を信じないで、悪を喜んでいたすべての者が、さばかれるためです。」と書かれています。ですから、神が聖書の真理を投げ捨て、偽りを吹聴する人々に対して抱いている怒りと復讐の念はすさまじいものであることを知りましょう。

神から惑わしの霊を送られたなら誰がその惑わしから逃れて命を救うことができるでしょうか？恐るべき神の怒りの時代が来るのです。

<レフトビハインドはその悪の欺き>

さて、その終末の日にサタンによって起こされる「悪の欺き」ということを考えてみましょう。私の理解ではその悪の欺きやら、惑わす力は遠い先のことと思えません。逆に私たちの目が開かれるなら、このことはもう既に教会に送られつつあるように思われます。

たとえば、レフトビハインド(Left Behind)を始めとした艱難前携挙説を宣伝する書物はその悪の欺きのひとつと思われます。レフトビハインドは非聖書的な終末教理を扱った小説ですが、欧米で6000万部以上販売されたベストセラー小説となりました。何故このような非聖書的な小説がこのように多数販売されるのか？それはこの小説が真理を扱っているからではありません。そうではなくて、上記「滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行なわれます。」とのみことばの成就なのです。

すでに神の怒りは背教の教会、クリスチャンに対して向けられつつあり、その怒りのゆえに、サタンの悪の惑わしであるレフトビハインドが大ベストセラーとなったのです。

そして、このようなインチキ小説を本気にして終末への備えを怠る愚かなクリスチャンはいずれ永遠の命を失い、滅びようになる

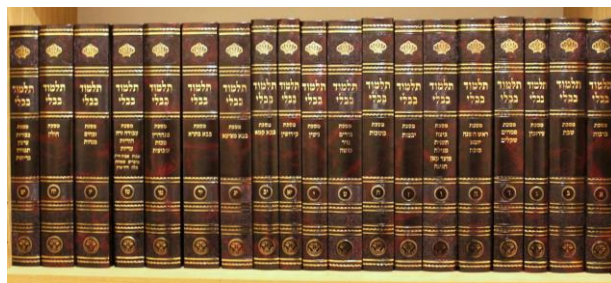
でしょう。それが、「滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行なわれます。」とのことばの意味合いです。

ですから私たちは悟らなければなりません。今の時代を悟り、みことばを悟るべきなのです。今の時代は、もう黙示録に一步踏足を踏み入れたかといえるような時代であり、もし、私たちの目が開かれるなら、黙示録の前兆といえることがらはもう既にいくつも起きつつあるのです。神の怒りは背教の教会に対して燃え上がりつつあり、その中であらゆる「悪の欺き」は広がりつつあるのです。

<ユダヤ人の回心という欺き>

あらゆる欺きのもう一つは、私の理解では、ユダヤ人の回心ということがらです。

J.N. ダービーの提唱したデイスペンセーション主義においては、終末の前に教会時代は終了し、教会は天に上げられる、終末の時代はユダヤ人の時代となる、と説きます。そしてその教理に呼応したかのように、近年ユダヤ人が回心した、との話がよく語られます。メシヤニックジュー(Messianic Jew)という人々がその回心したユダヤ人だとのことです。教理と事実がよく符合しているのです。この教えは正しいかのように見えます。しかし、私の理解では、このメシヤニックジューこそ、



イエスを冒瀆する記述が記載されているユダヤ經典タルムード

「あらゆる悪の欺き」 by エレミヤ

「滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行なわれます。」と書かれた悪の欺きの一つと思われます。

＜タルムードを否定しないメシヤニックジャー＞

クリスチャンを偽装したユダヤ人のことをマラノ(Marannos)と呼びます。メシヤニックジャーをよく調べるとマラノ、偽クリスチャンのにおいがします。

そう思う理由はいくつかあるのですが、その大きな理由の一つは、彼ら回心したといわれるユダヤ人たちが彼らの経典、タルムード(Talmud)を否定しないことです。彼らはタルムードが間違っているといいません。また、クリスチャンになったので、自分はまだタルムードを読まないともいいません。しかし、タルムードは以下の様にキリストに対して冒瀆的な内容が書かれた本です。

サンヒドリン(Sanhedrin)106aイエスの母は売春婦だったという。"彼女は大工と売春婦遊びをした総督の王女の子である"。

“サンヒドリン106にはイエスが若くして死んだことを満足げに書いている。"バラム(イエス)は何歳だったとお聞きか。彼は答えた、はっきりはいたしませぬが書き記された所によれば、この血みどろの詐欺男は彼の従者たちの半分も生きなかった三三歳か三四歳だったそうじゃ。"

サンヒドリン43aイエス(イエシュアまた脚注58にはナザレ人イエシュア)は魔術を行ったので処刑されたと言われる。"

このようにタルムードの内容は、イエスを冒瀆した内容であり、とてもまともなクリスチャンが読むには耐えられない内容です。このことに矛盾を感じないメシヤニックジャー

とは、真にキリストを信じたクリスチャンというよりは、クリスチャンを偽装した偽クリスチャンという方が正しいと思います。ユダヤ人がクリスチャンを偽装する、そんなことがあるか、と思う人もいるかもしれませんが、聖書は教会やクリスチャンを破壊する悪魔的な偽ユダヤ人の出現に関して語ります。以下の通りです。

黙示録3:9 見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しながら実はそうでなくて、うそを言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに来てひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。

このみことばが正しいのなら、黙示録の時代には正しいクリスチャンを惑わす嘘をつく偽ユダヤ人が出現することがわかります。メシヤニックジャーこそこの偽ユダヤ人に該当する人々と思われる。

ですので、このこと、多くのクリスチャンが盲信している「ユダヤ人の回心」ということがらも実は、あらゆる欺きの一つであることがわかります。

＜EUが獣の国であるとの欺き＞

聖書によるならば、終末において重要な位置を占めるのは「獣」と呼ばれる世界帝国です。この獣の国に関しても欺きが広がっています。ハルリンゼイ(Hal Lindsey)を始めとする人々はみな、EUがその獣の国である、と語ります。しかし、これは欺きであり、真の獣の国であるアメリカを悟らせないように広がった欺きの教えと思われる。

聖書は以下の様にその終末の獣の国はひとつの国であることを語ります。

「あらゆる悪の欺き」 by エレミヤ

黙示録13:1 また私は見た。海から一匹の獣が上って来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。

EUはいくつもの国が集まった共同体であり、一つの国ではありません。この聖書のことばとは矛盾します。アメリカは一つの国でありこのことばに合致しています。さらに聖書は以下の様にこの獣の国は圧倒的な強国、軍事大国であることを語ります。

ダニエル書7:7 その後また、私が夜の幻を見ていると、突然、第四の獣が現われた。それは恐ろしく、ものすごく、非常に強くて、大きな鉄のきばを持っており、食らって、かみ砕いて、その残りを足で踏みつけた。これは前に現われたすべての獣と異なり、十本の角を持っていた。

ダニエル書8:9 そのうちの一本の角から、また一本の小さな角（強い角：70人訳）が芽を出して、南と、東と、美しい国とに向かって、非常に大きくなっていった。

このように聖書は、この終末の獣の国が圧倒的な強国、軍事大国であることを暗示します。そしてこの視点で今の世界の国々を考えるなら、アメリカ以上の軍事大国は存在しません。EUの全ての国の軍事費を足し合わせてもアメリカ一国の軍事費には届きません。この点でもアメリカこそ獣の国の資格があります。

さらに黙示録は以下の様にこの獣の国が聖徒、すなわちクリスチャン達に戦いを挑み勝利を得ることを語ります。

黙示録 13:7 彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。

このことばは、今アメリカにおいて成就し

つつあります。アメリカ国は同性婚に関する法律を始め、あらゆる冒涇的な法律、クリスチャンの信仰をターゲットにした法律を制定しています。そして同性愛に反対する正しいクリスチャンを違法であるとして、罰金、逮捕の罰を行っています。まさに、「聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され」とのことばはこの国において成就しているのです。クリスチャンへの迫害、この点でもアメリカは獣の国の資格を満たしています。

このように明らかにアメリカこそ終末の獣の国の全ての「資格を満たしているのですが、何故かこのことは隠され、まるで煙幕を張るかの様にEU=獣の国説が広がっています。このこともあらゆる欺きの一つかもしれません。

結論として、聖書の警告、「滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行なわれます。」とのことばは正しく今のキリスト教会には、クリスチャンを惑わすあらゆる惑わしが広がっていることを私たちは見るのです。そして、欺きが広がっているその理由は、「彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。」と書かれているように、クリスチャンが聖書の真理から目を離し、つつあるからなのです。クリスチャンが聖書の真理に耳を閉ざし、耳ざわりの良い偽りに目を留めるためにこれらの欺きは教会に広がっているのです。まさに斧もすでに木の根元に置かれている時代なのです。（**マタイ 3：10**）私たちは神を恐れ、歩みを正しましょう。一以上一



同性愛者の結婚用のウエディングケーキを焼くことを拒否して135,000ドルの罰金を受けた米国のクリスチャン、Klein夫妻

ここ数十年で子供達を取りまく環境は劇的に変化しています。その一例としては、インターネットが劇的に発達しいまは完全にネット社会です。小学校においてもパソコン授業があり、PCは人々の生活の中にすっかり定着し、携帯電話は各自もつのが当たり前前の時代です。さらに昨今のスマートフォンの広がり著しいものがあります。そして子どもたちの玩具、遊びにおいてもアナログ的なものからコンピュータゲーム、インターネットゲームなど仮想世界の遊びへとすっかり変わっています。その中でもロールプレイングゲーム(RPG)という仮想世界で自分が主人公となるゲームは非常に人気があります。

このような仮想世界のゲームは、今や子供だけでなく若者や大人にも非常に人気です。しかしこれらのゲームについては、社会的にも身体的にも悪影響が多くあることがいわれており、ゲーム依存や心身、特に脳に悪影響を及ぼしていくことは良く知られています。

現在、若者向けに刺激的、破壊的、暴力的なゲームが多く販売されています。そしてゲームの内容においてはオカルト的なもの、魔術的パワーで、敵を倒していくという暴力的な行為が正当化されているものが多くあります。それにより、若者が暴力的になっているという統計もあります。海外においては過激な暴力的なゲームの影響により悲惨な殺人事件が実際に起こっており、そしてこれらの加害者は若者や子供であるのです。では子供向けのゲームなら安全なののでしょうか。

子供向けに作られ人気のあるゲーム、その代表的なゲームのひとつは、ポケモンでしょう。

ポケモンは1996年に発売された任天堂のゲームソフトシリーズです。また、ゲームソフトのみならずアニメ化、キャラクター商品、カードゲームなど多くのものがあり、世界的知られており大人の愛好者も多くいます。愛らしいキャラクターのモンスターを集めて、育て、対戦させて、強くなっていくという人気ゲームです。昨年はポケモンGOと言うスマートフォン向けのゲームが世界的に爆発的な広がりを見せ社会現象となったことは記憶に新しいでしょう。その影響力は世界的なレベルであるといえます。

ポケモンの可愛いキャラクターには何の危険も感じることができませんが、はたして本当にそうでしょうか。

これらのRPGゲームの霊的な危険性を警告している多くの聖書的な人々がいます。例えばLet's us Reason Ministriesの記事においても、ポケモンについての危険性が述べられています。「ポケモンにはオカルトの世界観の紹介と参加。キャラクターにはオカルトの習慣やニューエイジのシンボルが含まれています。ポケモンマスターになりたい主人公には両頬には稲妻があります。Lightning Boltは雷の神を表す悪魔のシンボルで、破壊的な悪魔主義者は稲妻や雷を使う」。とあります。

また、ポケモンのタイプは18種類に分類されていますが、その中にはエスパー、ゴースト、ドラゴン、毒、悪、フェアリー、

などの悪霊的なタイプが含まれています。また、ゲームの中で火、水、空気、風、土、オカルトの星のエネルギーをポケモンに与えることや、魔法や呪文のようなものを唱えるオカルト的な要素も多く含まれています。さらに記事では「ポケモンのゲームの進化論、神秘主義と異教信仰の理論のなかで、子どもたちはそれを少しずつ教えられています。子どもたちは人間的な知恵と神秘的な精神を受け入れるようになっていきます。」とあります。

子どもたちはポケモンの戦闘対戦を繰り返すことによって、オカルトの扉を開き、霊的に大きな影響を受けてしまうのです。オカルトを進めるポケモンは、子どもたちに霊的におかしなものを植え付けて行くのです。これは子どもが真の信仰を持つことの妨害となります。聖霊によりイエスを受け入れることが困難になります。御霊が働く前にすでに悪霊の影響を多く受けているのです。

このように昨今の子どもたちを取り巻く霊的環境は劇的に変化しているといえます。ポケモンをはじめとして、オカルト的な悪霊の働くものが非常に多く存在しています。しかも非常に魅力的なものとして子どもたちを取り巻いています。いまだかつてないほど悪霊的な影響がある時代ではないでしょうか。

エレミヤ7：17～18

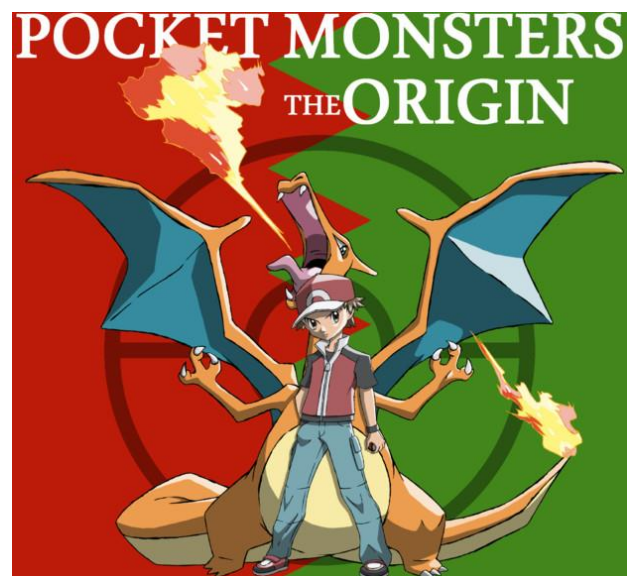
彼らが、ユダの町々や、エルサレムのちまたで、なにをしているのか、あなたは見ていないのか。子どもたちはたきぎを集め、父たちは火をたき、女たちは麦粉をこねて、『天の女王』のための供えのパン菓子を作り、わたしの怒りを引き起こすために、他の神々に

注ぎのぶどう酒を注いでいる。

エレミヤ7：30～31

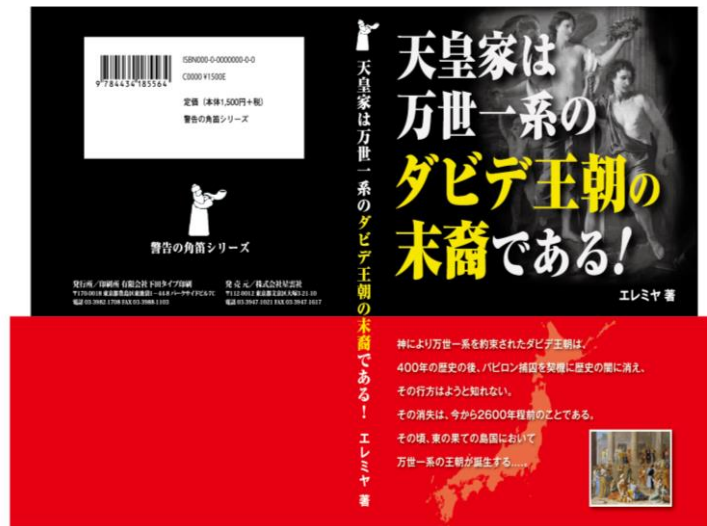
それは、ユダの子らが、わたしの目の前に悪を行ったからだ。—主のみ都告げ—彼らは、わたしの名がつけられているこの家に自分たちの忌むべき物を置いて、これを汚した。また自分の息子、娘を火で焼くために、ベン・ヒノムの谷にあるトフェテに高きところを築いたが、これは、わたしが命じたこともなく、思いつきもしなかったことだ。

預言者エレミヤの時代においても、子どもたちは悪霊を受け入れる大人達の影響を受けています。さらに、悲惨なことに子どもたちは異教の儀式の犠牲となり火で焼かれているのです。これは、エレミヤの時代だけではありません。子どもの霊的な環境は大人によって左右されます。今の時代は悪霊的な働きが蔓延している時代であることを知る必要があります。子どもが悪霊の火で焼かれてしまうような時代であることを悟らなくてはなりません。—以上—



ポケモン

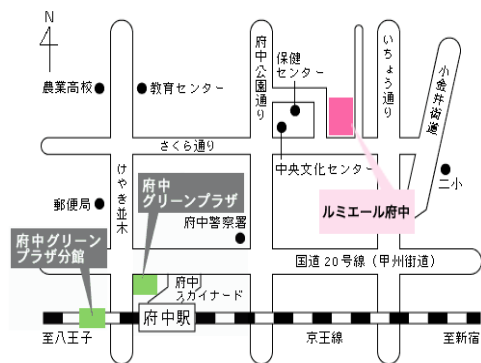
●エレミヤの新刊「天皇家は万世一系のダビデ王朝の末裔である！」



定価:¥1,500+消費税 ※注文を御希望の方は、以下へご連絡下さい。
 警告の角笛出版 tel:042-364-2327 fax:020-4623-5255
 mail:truth216@nifty.com

●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日 午前 10:30-12:30
 午後 14:00-16:00
 場所:東京都京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館
 (tel:042-360-3311)
 1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、
 「レムナントキリスト教会」の部屋をご確認ください。
 どなたでも来会歓迎、入場無料です。



礼拝場所のURL: http://www.fuchu-cpf.or.jp/green/access/map_02.html

★教会のHPもあります。

ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。
 尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>